令和８年度 第１回沖縄県がん診療連携協議会 離島・へき地部会議事要旨

日　時：令和８年４月 30 日(木)　17：00～18：00
場　所：Zoom を利用した Web 会議
参加者：13 名
赤松道成（北部地区医師会病院)、有銘みどり（北部地区医師会病院)、西原政好（県立宮古病院)、下地千里（県立宮古病院)、山本孝夫（県立八重山病院)、砂川　綾子（県立八重山病院)、友利寛文（那覇市立病院)、吉田幸生（県立中部病院)、古波津万里子（沖縄県保健医療介護部健康長寿課)、真栄里隆代（ゆうかぎの会）戸板孝文（県立中部病院)、増田昌人（琉球大学病院がんセンター)、知念崇（琉球大学病院がんセンター）
欠席者：２名
安次嶺宏哉（沖縄協同病院)、田盛亜紀子（やいまゆんたく会）
陪　席：１名
豊福真理子(琉球大学病院がんセンター)

【報告事項】
１．令和７年度 第３回離島・へき地部会議事要旨について
　赤松委員より、資料１に基づき、説明があった。
２．ＡＹＡ世代のがん患者向けパンフレットの周知・活用について
　古波津委員より、資料２に基づき、報告があった。
３．　その他

【協議事項】
１．部会長、副部会長の選任について
　部会長に西原委員、副部会長に山本委員が決定した。
２．北部・宮古・八重山医療圏における血液内科外来・腫瘍内科外来・放射線治療外来の達成状況について
　増田委員より外来治療について各担当医から状況報告を求めた。
　戸板委員：北部地区医師会病院外科カンファレンスに参加し、潜在的な放射線治療適応患者が多く存在することを確認した。今後もカンファレンスに参加し、適応を検討する方針を報告した。
　知念委員：薬剤師中心の副作用対応マニュアルの作成に取り組んでいると説明した。
　吉田委員：宮古病院では、がん遺伝子パネル検査やセカンドオピニオンの相談をうけているとの報告があった。
　外来の後に、外科及び消化器の先生とカンファレンスを行っているとの報告があった。
　八重山病院では、治療した方のフォローと再発した方の診察をし、がん遺伝子パネル検査やセカンドオピニオンの治療を行ったとの報告があった。

西原委員より、血液内科に関して、県外より県内の医師に診療してほしいとの要望があり、増田委員から、今年度中には、具体的な計画を立てるようにすると回答があった。

３．第 4 次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）の中間評価について

(1) 第 4 次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）ロジックモデル

増田委員より、資料 5-1 に基づき、説明があった。

(2) 中間評価用データ集について

増田委員より、資料 5-2 に基づき、説明があった。

(3) 評価シートひな形について

増田委員より、資料 5-3 に基づき、ニーズ評価、セオリー評価、プロセス評価、インパクト評価について、説明があった。

(4) 実際の中間評価について

増田委員より、当日資料は、画面共有で説明があった。

評価シート作成後、委員の方へ委員等意見欄の記入の依頼があった。

４．拠点病院の指定要件の変更に対する提案について

増田委員より、拠点病院の指定要件の変更が、今後行われる予定である。ついては、何か要望や提案がある場合は、増田委員にメールで送ってほしいとの依頼があった。

５．次回の開催日程について

5 月下旬開催予定

６．その他

令和８年度 第２回沖縄県がん診療連携協議会 離島・へき地部会議事要旨

日　時：令和８年５月 19 日(火)　17：00～18：00
場　所：Zoom を利用した Web 会議
参加者：11 名
赤松道成（北部地区医師会病院)、有銘みどり（北部地区医師会病院)、西原政好（県立宮古病院)、下地千里（県立宮古病院)、砂川　綾子（県立八重山病院)、友利寛文（那覇市立病院)、吉田幸生（県立中部病院)、安次嶺宏哉（沖縄協同病院)、古波津万里子（沖縄県保健医療介護部健康長寿課)、増田昌人（琉球大学病院がんセンター）知念崇（琉球大学病院がんセンター)
欠席者：４名
山本孝夫（県立八重山病院)、戸板孝文（県立中部病院)、真栄里隆代（ゆうかぎの会）
田盛亜紀子（やいまゆんたく会）
陪　席：１名
豊福真理子(琉球大学病院がんセンター)

【報告事項】
１．令和８年度 第１回離島・へき地部会議事要旨について
　西原委員より、資料１に基づき、説明があった。
２．離島・へき地部会委員一覧
　資料２のとおり、確認された。
３.北部・宮古・八重山医療圏における血液内科外来・腫瘍内科外来・放射線治療外来の達成状況について
　西原委員より、資料３に基づき、報告があった。
４．その他

【協議事項】
１．離島・へき地における疾患別対応状況について
　増田委員より、資料４に基づき、がん種が増えた報告があった。
２．離島・へき地部会が所掌する分野の第４次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）の中間評価について
　増田委員より、５月８日の第１回連携協議会で修正案が可決された。それを受けて、６月 23 日までに個別政策評価シートを各部会委員、WG 委員に配布し、意見を収集することとした。７月６日の幹事会、８月７日の第２回連携協議会で中間評価報告書の概要を審議すると、説明があった。
　(1) 第４次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）ロジックモデルの確認
　　増田委員より、資料 5-1 に基づき、説明があった。
　(2) ロジックモデル進捗管理シートの説明

増田委員より、資料 5-2 に基づき、説明があった。

(3) 評価施策シートの説明

増田委員より、資料 5-3 に基づき、説明があった。

(4) 実際の中間評価のやり方について

増田委員より、資料 5-4 に基づき、説明があった。

(5) 中間評価　説明文書

増田委員より、資料 5-5 に基づき、説明があった。

(6) 個別施策評価シート　施策１離島・へき地への情報提供

増田委員より、資料 5-6 に基づき、説明があった。

(7) 個別施策評価シート　施策２がん診療病院での標準治療

増田委員より、資料 5-7 に基づき、説明があった。

(8) 個別施策評価シート　施策３診療病院への人材配置

増田委員より、資料 5-8 に基づき、説明があった。

(9) 個別施策評価シート　施策４本島への渡航費用等の助成

増田委員より、資料 5-9 に基づき、説明があった。

増田委員より、委員の方へ 5/29 までに色付き箇所の評価シートにご意見等の記入の依頼があった。

３・拠点病院の指定要件の変更に対する提案について

増田委員より、7/31 に拠点病院の指定要件の公表がある。何か要望や提案がある場合は、増田委員にメールで送ってほしいとの依頼があった。

西原委員より、今後の拠点病院は減らす方向になっているか、質問があり、増田委員より、現在の拠点病院の分野が多すぎて予算が限られている。人口の少ない県を優先すること、病院ごとの集約化よりも疾患ごとの集約化の方が効果的である可能性、二次医療圏に空白を生じさせないことが重要であると回答した。

４．次回の開催日について

6 月開催

５．その他

令和８年度 第３回沖縄県がん診療連携協議会 離島・へき地部会議事要旨

日　時：令和８年６月 18 日(木)　17：00～18：30
場　所：Zoom を利用した Web 会議
参加者：12 名
赤松道成（北部地区医師会病院)、山本孝夫（県立八重山病院)、有銘みどり（北部地区医師会病院)、西原政好（県立宮古病院)、真栄里隆代（ゆうかぎの会)、砂川　綾子（県立八重山病院)、友利寛文（那覇市立病院)、戸板孝文（県立中部病院)、吉田幸生（県立中部病院)、古波津万里子（沖縄県保健医療介護部健康長寿課)、知念崇（琉球大学病院がんセンター)
増田昌人（琉球大学病院がんセンター)
欠席者：３名
安次嶺宏哉（沖縄協同病院)、下地千里（県立宮古病院)、田盛亜紀子（やいまゆんたく会)
陪　席：２名
酒向摩貴子(沖縄県保健医療介護部健康長寿課)、豊福真理子(琉球大学病院がんセンター)

【報告事項】

１．令和８年度 第２回離島・へき地部会議事要旨について
　西原委員より、資料１に基づき、説明があった。

２．北部・宮古・八重山医療圏における血液内科外来・腫瘍内科外来・放射線治療外来の達成状況について
　西原委員より、資料２に基づき、報告があった。
　増田委員より外来治療について各担当医から状況報告を求めた。
　戸板委員：北部地区医師会病院において、今年度より月１回カンファレンスに参加し、患者紹介を受け、中部病院での放射線治療を実施している患者が複数いることが報告された。県立八重山病院においても月１回の放射線治療外来を継続して実施しており、本島の医療機関への紹介につながっているとの報告があった。
　吉田委員：宮古病院及び八重山病院において、がん遺伝子パネル検査やセカンドオピニオン対応、カンファレンスによる連携を行っているとの報告があった。
　知念委員：北部地区医師会病院に月１回訪問し、外来診療は行わず、外科カンファレンスに参加し、irAE の個別症例について相談対応を行っているとの報告があった。今後は具体的な対応手順の検討を進める予定であるとの報告があった。

３．その他

【協議事項】

１．離島・へき地部会が所掌する分野の第 4 次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）の中間評価について

(1) 第 4 次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）ロジックモデルの確認

増田委員より、資料 3 に基づき、説明があった。

(2) 個別政策の中間評価について

増田委員より、各施策について、委員からの意見を踏まえ、現状と課題について意見交換が行われた。

２　拠点病院の指定要件の変更に対する提案について

増田委員より、7/31 に拠点病院の指定要件の公表がある。何か要望や提案がある場合は、増田委員にメールで送ってほしいとの依頼があった。

現行の施策の効果を評価する必要性を強調し、参加者の意見を取りまとめた上で最終的な部会意見として提出する予定であると説明があった。

３．次回の開催日について

7 月開催

４．その他

離島・へき地におけるがん診療について、「専門外来により一定の診療はできているが、継続的な治療体制には限界がある」との意見があった。

これに対し、「化学療法の継続や副作用対応は現地医師の負担が大きく、月 1 回の専門外来だけでは対応が難しい」との指摘があった。

また、「専門医が不足しており、一部の医師に負担が集中している状況がある」との課題も共有された。

放射線治療については離島での実施が不可能であり、本島医療機関との連携を前提とした体制が機能している一方で、遠隔相談等を含めた連携強化が求められた。さらに、腫瘍内科領域では化学療法の継続管理や副作用対応が課題であり、月 1 回の専門外来のみでは十分な対応が困難であり、月 2 回の実施が理想的であることが確認された。このため、オンコジェネラリストの育成や二人主治医制の導入など、地域と専門医が連携した持続可能な診療体制の構築が必要であるとの認識が共有された。加えて、地域医療機関における人材育成や教育機会の確保、医師間の継続的な連携体制の構築も重要であるとの意見があった。

令和８年度 第４回沖縄県がん診療連携協議会 離島・へき地部会議事要旨

日　時：令和８年７月 21 日(火)　17：00～18：15
場　所：Zoom を利用した Web 会議
参加者：11 名
有銘みどり（北部地区医師会病院)、下地千里（県立宮古病院)、西原政好（県立宮古病院）
真栄里隆代（ゆうかぎの会)、砂川　綾子（県立八重山病院)、田盛亜紀子（患者関係者）
友利寛文（那覇市立病院)、戸板孝文（県立中部病院)、古波津万里子（沖縄県保健医療介護部健康長寿課)、増田昌人（琉球大学病院がんセンター)、知念崇（琉球大学病院がんセンター）
欠席者：４名
赤松道成（北部地区医師会病院)、山本孝夫（県立八重山病院)、吉田幸生（県立中部病院）
安次嶺宏哉（沖縄協同病院）
陪　席：１名
豊福真理子(琉球大学病院がんセンター)

【報告事項】
１．令和８年度 第３回離島・へき地部会議事要旨について
　西原委員より、資料１に基づき、説明があった。
２．がん診療連携拠点病院等の指定要件の改定案について
　増田委員より、資料 2-1 から資料 2-3 に基づき、説明があった。
　主な内容として、がん診療連携協議会の役割強化、がん医療提供体制の集約化・連携推進、アピアランスケアへの対応強化及び地域がん診療連携拠点病院の診療実績要件の見直し等について報告があった。
　また、令和８年７月 31 日に正式な指定要件が公表される予定であり、その後、各医療機関において対応を検討していくことが説明された。
３．その他

【協議事項】
１．離島・へき地部会が所掌する分野の第４次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）の中間評価について
　(1) 中間評価方法について
　　増田委員より、資料３に基づき、説明があった。
　(2) 中間評価（案）
　　増田委員より、資料４に基づき、以下の４つの個別政策について中間評価（案）の説明があった。

・施策 1 離島・へき地への情報提供
・施策 2 がん診療病院での標準治療
・施策 3 診療病院への人材配置
・施策 4 本島への渡航費用などの助成

各施策におけるニーズ評価、セオリー評価、プロセス評価、インパクト評価及び総合評価について説明が行われた。委員から大きな修正意見はなく、追加意見がある場合は後日事務局へ連絡することとなった。

２．北部・宮古・八重山医療圏における血液内科外来・腫瘍内科外来・放射線治療外来の達成状況について

増田委員より、資料 5 に基づき、説明があった。

専門外来の実施回数について、月 1 回から月 2 回への拡充を幹事会へ提案したところ、患者数や医療機関側の負担、予算及び人件体制費などについて、更なる検討が必要との意見があり、継続協議となった旨報告があった。

西原委員より、宮古病院においては放射線治療外来及び腫瘍内科外来について、専門医との相談体制が構築されており、現状の月 1 回体制で概ね対応できているとの説明があった。

一方、血液内科外来については、県外医師による支援体制であることから、継続的な相談体制や患者支援の観点から月 2 回程度の実施が望ましいとの意見があった。

また、患者会真栄里委員からは、患者の安心感や受診機会の確保、身体的・経済的負担軽減の観点から、専門外来の充実を望む意見があった。

現行の月 1 回体制を継続しつつ、今後の患者ニーズや運営状況を踏まえながら引き続き検討していくこととなった。

３．次回の開催日について

8 月末開催予定

４．その他

令和８年度 第５回沖縄県がん診療連携協議会 離島・へき地部会議事要旨

日　時：令和８年８月 18 日(火)　17：00～18：00
場　所：Zoom を利用した Web 会議
参加者：９名
下地千里（県立宮古病院)、西原政好（県立宮古病院)、真栄里隆代（ゆうかぎの会）
砂川　綾子（県立八重山病院)、山本孝夫（県立八重山病院)、友利寛文（那覇市立病院）
戸板孝文（県立中部病院)、増田昌人（琉球大学病院がんセンター)、知念崇（琉球大学病院がんセンター)
欠席者：６名
赤松道成（北部地区医師会病院)、有銘みどり（北部地区医師会病院)、吉田幸生（県立中部病院)、安次嶺宏哉（沖縄協同病院)、古波津万里子（沖縄県保健医療介護部健康長寿課）
田盛亜紀子（患者関係者）
陪　席：１名
豊福真理子(琉球大学病院がんセンター)

【報告事項】

１．令和８年度 第４回離島・へき地部会議事要旨について
　西原委員より、資料１に基づき、説明があった。

２．がん診療連携拠点病院等の指定要件の改定案について
　増田委員より、資料 2-1 から資料 2-3 に基づき、説明があった。
　主な内容として、指定要件の見直し周期が 6 年から 3 年へ変更、拠点病院及び都道府県連携協議会の役割強化、治験・臨床試験に関する情報提供体制の整備、緩和ケア体制の充実並びにアピアランスケア及びリンパ浮腫への対応強化等について報告があった。
　また、現況報告書の提出スケジュール等について説明があり、各医療機関において早めの準備を進めるよう依頼があった。
　戸板委員、下地委員及び山本委員より、三大療法に関する総合的研修を受けた医師の配置要件、緩和ケアチームへの社会福祉士配置要件及びアピアランスケア体制整備に関する質問があり、増田委員より、現時点で判明している内容について説明があった。

３．小児がん拠点病院等の指定要件について
　増田委員より、資料 3-1 から資料 3-3 に基づき説明があった。
　小児がん診療体制について、全国 15 施設による従来の体制から、各都道府県に小児がん拠点病院を整備する方向で制度改正が進められていることが報告された。

４．がんゲノム医療中核拠点病院等の指定要件について
　増田委員より、資料 4-1 から資料 4-3 に基づき説明があった。
　がんゲノム医療についても制度改正が予定されており、各都道府県に拠点病院を配置し、その下に連携病院を配置する体制へ移行する方向性が示された。

５．その他

【協議事項】

１．離島・へき地部会が所掌する分野の第 4 次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）の中間評価について

増田委員より、資料 5 に基づき説明があった。

本来は沖縄県がん診療連携協議会において中間評価案を報告し、意見を集約する予定であったが、協議会が延期となったため、現段階では評価案に変更はなく、今後の協議会開催後に再度検討する予定であることが報告された。

２．北部・宮古・八重山医療圏における血液内科外来・腫瘍内科外来・放射線治療外来の達成状況について

増田委員より、資料 6 に基づき、説明があった。

北部地区医師会病院において、血液内科外来を令和 8 年 9 月より開始する予定であることが報告された。今後も現行体制を継続しながら、地域のニーズや運営状況を踏まえ、必要な体制整備について、引き続き検討することとなった。

３．次回の開催日について

9 月末から 10 月初旬を予定

４．その他